

幼稚園・千駄木小・文林中を同時改築 多くの人が集う複合型施設の学校を作ろう！

— 誇れる教育施設 —

知っていましたか？ この区有地教育施設敷地面積が区内随一であることを。
この広大な敷地も、幼稚園・小・中学校と3分割されたままでは、広さのメリットを十分に生かすことはできません。小学校、中学校を別学または一貫教育にするかどうかの議論は別として、敷地を共有することで更にすばらしい教育環境が整うと考えます。
最先端の設備を整えた教室、大型の体育館、広々とした屋外グラウンドなど、誇れる教育施設がみなさまの提案によって実現します。

— 地域防災（安全な避難所） —

体育館を大型にして災害時の避難所としても優秀に機能するよう、施設のあり方を検討しましょう。
同時改築することにより、文林中が避難所となる町会は、避難経路、細路地が解消され、緊急・支援車両が入りやすくなります。野外テントや仮設住宅も建てやすく、がれきなどの一時集積所としても利用できます。
一体感ある大きな校舎に改築することによって、災害時の通信障害による情報共有もスムーズになり、安心できます

— コミュニティ —

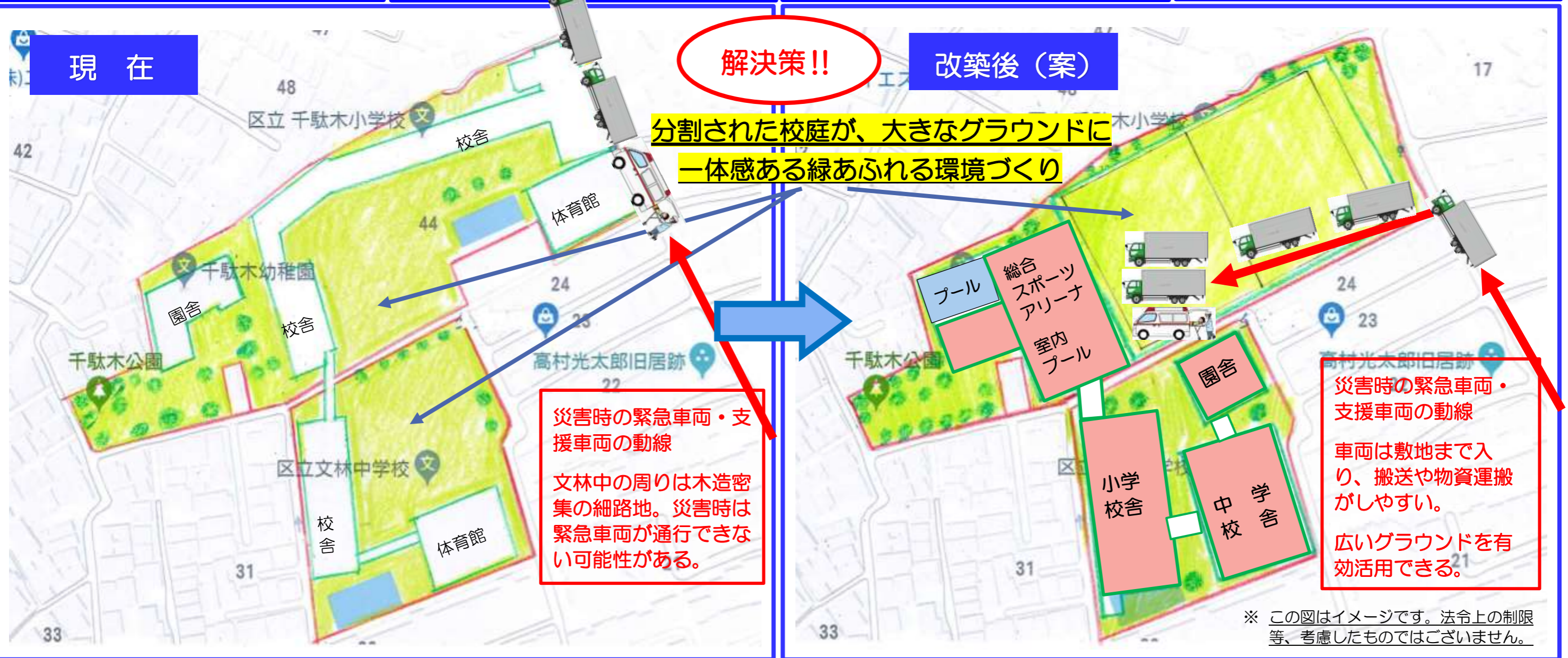
大きな校舎にさまざまな人が集う施設を設ければ、幅広い交流が生まれるでしょう。そうした複合型校舎の特徴を生かすことで、多様性を認め、互いが尊重しあう「共生社会」を実現するためのインクルーシブ教育を推進します。

自治会なども利用しやすく、障がい者、高齢者、子育て世代が抱える不安や悩みを解消し、気軽に相談できるコミュニティの場となるよう、施設づくりを検討していきましょう。

— 健康とスポーツ —

緑地帯が広がることで、老若男女、緑を楽しみ、運動できる十分なスペースを確保することができます。近隣の陽当たりが良くなり、資産価値が上がります。

大きなグラウンドが誕生すれば、多くの方々が本格的にスポーツを楽しめるようになり、近隣と協議してナイター照明をつければ、あまり遅くならない夜間まで利用していただけます。その他、プールの開放やイベントなどさまざまな用途が考えられます。



2019
11

佐藤ごういち



— ごあいさつ —

おかげさまで、区議として2期目を迎えることができました。これからもみなさまの頼れる議員として、たゆまぬ努力を重ね、日々精進いたします。

これからも引き続き、文京区が抱える諸問題に取り組み、みなさまの暮らしに役立つ活動を行ってまいります。とりわけ「まちづくり」にかんしては、不動産知識を持つ議員として、私の使命であると考えております。そこで今号では、千駄木小学校改築計画について、みなさまにご提案をさせていただきます。

ぜひ、お目通しをお願いいたします。

千駄木小学校の改築計画、私はこう考えます

千駄木小学校改築に向け、行政がみなさまのご意見をお聞きするために、本年度中にワークショップが開催されます。充実したワークショップを開催するために、まずは私から、地域・教育関係のみなさまに耳を傾けていただきたいご提案があります。

限られた予算を有効活用するには、“老朽化した小学校を改築する”という単体の計画を超え、よりグローバルな視点で考えることが大切だと思っています。すなわち、「そこに何ができるのか？ それをつくることで、地域が抱える課題、諸問題、更には文京区が抱える課題、諸問題がどれだけ解決可能か？」という視点です。では、実際に、何が作れるのでしょうか？

千駄木幼稚園・千駄木小学校・文林中学校を同時改築

私からのご提案は、千駄木幼稚園（以下幼稚園）、千駄木小学校（以下、千駄木小）、文林中学校（以下、文林中）の改築を「同時」に行い、3つの教育施設の敷地を共有することが前提となります。千駄木小だけ先に改築してしまうと、問題が山積したままとなり、将来的にも解決が難しくなります。

2校1園を同時に改築した場合、体育館やグラウンドなどの設備は、幼稚園・小・中学校の子どもたちが共有して使えるようにします。

また、校舎内には学校設備だけでなく、障がい者福祉施設や高齢者向福祉施設、子育て支援施設や保育施設、他さまざまな区民ニーズに対応するためのコミュニティ施設を含む諸施設などを設けます。さらに、幼稚園・千駄木小・文林中の敷地を共有することで、屋外には広々としたグラウンドを備えることも可能となります。広大なグラウンドは、防災にも役立つはずですよ。

千駄木が誇る教育・厚生福祉施設を！

課題 災害避難場所である文林中には、緊急・支援車両が通行できない
→ 緊急・支援車両の通行、駐車場所を確保。地域防災の強い拠点に！

千駄木小は「上動五三会」「動坂中町会」「動坂町会」、文林中は「千駄木東林町会」「千駄木西林町会」「千駄木三丁目北町会」の災害避難場所になっていますが、そもそも文林中は木造住宅の密集地域で細路地の中にあり、災害時に緊急車両が到達することができません。首都直下地震などの災害が発生した場合、文林中に支援物資を届けるには、車両が通行できる主要道路からみなさまが手作業で運ぶしかありません。広いグラウンドが確保できれば、緊急車両や支援車両が入りやすく、用途も増えます。

課題 ニーズがあるのに予約がとれない、諦めていた屋外グラウンド
→ 気軽に使っていただける、環境の充実した、本格屋外グラウンド

現在、区内の屋外グラウンド場には「小石川運動場」と「目白台運動場」の2つがありますが、週末や祝日には予約が殺到し、平日でさえ抽選で使用するという状況で、誰もが十分に屋外スポーツを楽しむ状況にあるとは言えません。千駄木地域に広いグラウンドが完備されれば、子どもから大人まで、誰もが野球やソフトボール、サッカー、ラグビーなどの屋外スポーツが楽しめ、他にもイベントなどさまざまな用途に活用していただけたらと思います。

課題 障がい者・高齢者・子育て支援など厚生福祉施設の不足
→ 校舎内に厚生福祉施設を設けることで一大コミュニティ施設に！

「共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システム」の構築を目指し、障がいの有無にかかわらず、一人ひとりの「個性」を尊重しながら、それぞれが最大の能力を引き出せる教育環境を拡充します。また、高齢者が利用できる複合施設を新設。高齢者の「フレイル」を予防するコミュニティ広場がどうあるべきか検討し、健康寿命を伸ばす「栄養」「運動」「コミュニティ環境」について検討、具現化します。そのほか、子育て世代の孤独や不安を解消する子育て支援施設を設けるなど、みなさまが幅広く利用できる一大コミュニティ施設を整えます。

課題 老朽化した校舎を改築するための基金も残り数校分
→ 2校1園同時の改築で、区の支出を軽減！

区の基金のうち、学校など教育施設改築などに使うために蓄えている「特定目的基金」は、その都度増減するものの、現在は199億円ほどになっています。ひとつの学校を改築するには約70~90億円必要です。今後も区内には改築の必要がある教育施設があるため、基金が底をつかないよう、同時改築によって予算削減を目指します。2校1園をそれぞれ改築するとざっと200億円必要ですが、同時に改築すれば建設費は数十億円も節税できると考えます。

発行元 佐藤ごういち事務所
〒113-0030 文京区根津 1-1-8-1202
TEL 03-3812-7111（議会電話）
E-mail gouichi515@yahoo.co.jp URL gogogoichi.jp

みなさまのご意見をお聞かせください



自民党